



月刊 第 579 号

水害・猛暑・台風・地震

なんと言う年なのでありましょ
うか。当時を振り返ればそろそ
ろ梅雨の季節、おやおや今年は
空梅雨かなどと思っていたとこ
ろへ一挙に天が裂けたような大
雨、割と災害の少ない町と思っ

ていたこの町も方々で崖崩れが
発生、いささか因縁めいた話に
なってしまうのだが、その時地
震に強いと言われている寺泊層
の地質のことや、二百年程前の
片町の崖崩れ、二つの寺が土砂

に流され移転(生福寺、長善寺)
その後地に出来た門前屋敷のこ
とや分水右岸の断層、松沢町か
ら年友和島へかけての断層、新
潟から小千谷方面へかけての断
層の事など話題になり新潟日報
にもつい最近そのような記事が
掲載され地震の起こる確立等も
併載されていたばかりなのに突
然襲った中越大地震である。大
雨の後につづいた全国的な猛暑
と次から次へ日本列島を縦断
する大型台風のもたらす風水害、
その自然の猛威の中で手も足も
出ない人間の生きゆくことの悲
しみが露呈してゆく。

幸いその災害から逃れた中
で思ってみれば多くの悲しみや
苦しみに出合っして整儀しておら
れる人達の犠牲の上に、たまた
ま無傷でいられた私があると思
い知らされる。
縦に考えれば長い人間の歴史
の上にそのことが思われ、横に
考えれば広く世界の果て果てま
で様々な人間のいとなみが見え
てくる。一夜明けて今回の地震
の惨状が次々とあきらかになり
胸がつまる。一人暮らしの親戚
の消息が仲々わからず午後になっ
てようやく避難所に居ることが
わかりはつとずする。いっとき見
舞の電話の往復があったものが
その後ほとんど電話がつかなら
なくなり、これ又午後になって
から回復、ひっきりなしに方々
から温かいお見舞はげましの電
話を頂く。有難いことであり

ます。時々揺れる余震にもよう
やく慣れて気分的にも少し余裕
が出来たところでようやく他人
のことが頭に浮かぶ。実に勝手
なものです。
昨日の地震発生の際は企画し
ていた秋のライブコンサート開
場の寸前で文化会館「はまなす」
に居ました。中止するわけにも
行かず様子を見ながら三回の大
揺れで何とかおさまったような
ので実は内心ビクビクしながら
予定通り六時三十分開始し八
時半過ぎに無事終了することが
出来たものの途中演奏中に小さ
な揺れが何回かあり開演の挨拶
の中で聖路加病院名誉院長九十
三才で現役の医師日野原重明さ
んの「音楽は何よりの心のリハ



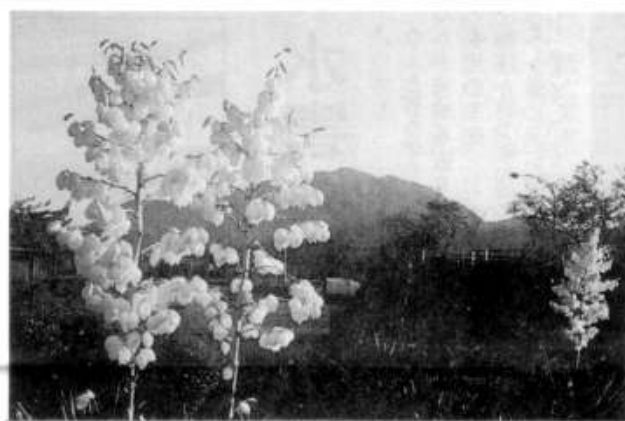
このページ3枚の写真は町観光協会の写真コンテスト
「寺泊を撮る」の入選作品です。
最優秀作品は砂像作りコンテスト風景。



説明するまでもなく八月の名物海上花火。
花火の写真は仲々難かしい。
寺泊写真協会 外山辰司さんの作品。



野積のホテル飛鳥の前に立つチャペル。
時々ここで結婚式が行われる。
勿論牧師が居るわけでなく、謂わば人前結婚。



秋風が冷めたくになると、海浜公園内の龍舌蘭が一勢に花開く。

植物を育ててゆくには年月と根気が必要。



別々に開催されていた農業祭と魚まつりが、同時開催となった。

農産物の展示即売、牛の丸焼、餅つき等が農業関係。



魚まつりは何と言っても宝さがしがメーンとなるが、こちらは仲々写真に撮り難い。

魚の競り市、番屋汁も大盛況。

「ビリ」地震の恐怖で揺れつづけている心をどうぞ音楽を聴いて平常の心に戻るよう充分リハビッドとして頂きたいなどは言っただけのもの自分の心はずつと揺れつづけて放しと言った状態でした。見破られまいと笑顔をつくらせて入場された方々を送り出したものの今にして思えばきつとひきつった笑顔だったに違いありません。

東京から招いた五人の出演者にはホテルへ引きあげていたままですっかり忘れていて、新幹線も高速道路も通交不能になった中でどうして帰られたらうかと今頃になってようやく気がつく仕末です。それに一緒に手伝って頂いた先輩は今日(二

十四日)が小学校当時の同級会で関東方面から来られる方々も大勢居られるようで一泊二日の楽しい計画が台無しで困っておられるであろうにそこまでは気が廻らず、ほんとうに申訳のない、勝手な奴と今頃になって反省している次第です。

災害に対する関心が広く人々の心に定着したのは阪神大震災以降のように思うのですが身内他人の境を越えてボランティア活動が国境を越えて全世界的な規模で拡がり、救援活動も組織化されそれと同時に被災者同志の協力も感動的でさえあり人間の生きる力の素晴らしさに目を見はらされ、それは多くの人々にどんな状況の中にあるうと生

志士五十嵐伊織

さとうのぶひと

寺泊町金山の相澤美術館では「難波田史男の世界」展が開かれています。没後30年を記念した展覧会で、この4月に東京ステーションギャラリーで回顧展が開催され、若者を中心に好評を博したと伝えられています。今回、相澤美術館では、未公開作品を含む72点を公開しています。

寺泊の海を一望にする3Fの展示室は、不思議な透明感に満ちています。ペンと水彩の難波田史男の絵は、日本の「クレール」とも「カンディンスキー」とも評され、一見、子どもの絵のようにも見えます。しかしそのデリケートな線は、子どもはおろか大人でも引けません。インクの色が柔らかく包み込んでいます。具体的な事物を拒否した「内面性」の絵画と言えるかもしれませぬ。

「難波田史男の世界」は11月28日(日)まで。毎週土・日・祝日・特別開館日、午前9時30分より午後5時30分までです。さて、先月号で幕末維新の志士、本間精一郎を取り上げました。寺泊出身で歴史の表舞台に登場した維新の志士にもう一人、大村益次郎暗殺事件に連座した五十嵐伊織を忘れることができません。

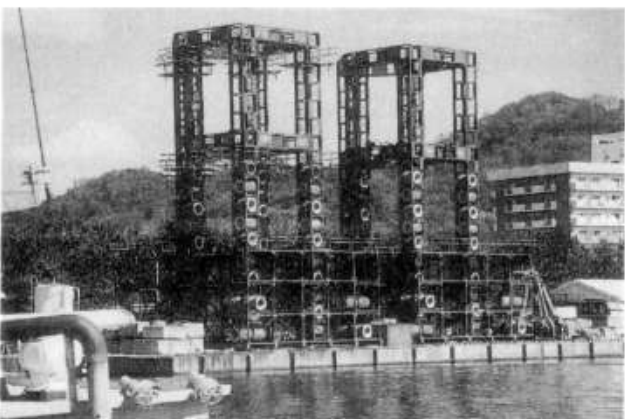
五十嵐伊織は南蒲原田上村、田巻家三男として生まれ、幼年にして越後寺泊駅きつての郷土、菊屋五十嵐家の養子となります。刈羽の藍沢南城の塾で学び、長岡藩士について剣術に精通しま



第21回シーサイドマラソンが10月17日快晴に恵まれる中スタート。当日は県知事選挙と重なり役場職員は総動員。ボランティアも大活躍。



今年は1,200人が参加。新高にも同日開催のマラソンがあり、参加者も減少傾向であるが、ゴール後の番屋汁が一役買って底支え。



「鯛やヒラメの舞い踊る」と看板表示にある大型魚礁。出来上ると寺泊沖水深80mの海中に来年早々沈める予定。

した。菊屋の跡地が現在の聚感園です。
1868年(明治元)1月、鳥羽・伏見の戦に端を発する戊辰戦争が始まります。官軍東進の過程で、北陸道鎮無総督の要請により南蒲原の働皇有志の兵隊が結成され、「居之隊」と称します。本間精一郎の京都での活躍と非業の死は、寺泊にも届いて来たことでしょう。五十嵐は居之隊に志願し、同年3月、勤皇の志あつい寺泊の同志5人とともに出奔、東進する官軍に合流します。

同年4月、江戸は無血開城しますが、東北の佐幕雄藩は5月、仙台、米沢両藩を中心に奥羽越列藩同盟を結成、官軍に対する抵抗姿勢を明らかにします。激烈を極めた北越戦争が5月から7月まで続き、8月から9月までの会津戦争に引き継がれていきます。

五十嵐は会津から仙台に入り、奥羽鎮無副総督、沢為量に謁見、庄内征討を命ぜられ、奥羽各地を転戦します。9月には米沢、仙台両藩が降伏し、会津藩も降伏、鶴岡藩も降伏して最終的に同盟側は敗北します。

五十嵐は奥羽の乱が平定した後、沢為量に随従し京都に凱旋します。越後寺泊には戻らず、沢為量の邸内でしばらく過ごすこととなります。

一方、大村益次郎は周防(山口県)の医師の家に生まれ、緒方洪庵の適々齋塾で学び塾頭になつた秀才です。洋式兵学を研究し、幕府の講武所教授として出仕したあと、萩藩に迎えられ、軍制改革に参画します。

後	の	当	主	で	し	た	。	中	世	か	ら	続	い
た	越	後	寺	泊	の	名	だ	た	る	旧	家	は	、
姿	を	消	す	こ	と	に	な	り	ま	す	。	(青
柳	清	作	『	寺	泊	の	歴	史	』	寺	泊	町	公
民	館	、	1	9	6	1)						

誌	代	御	後	援	敬	称	略	・	順	不	同
東	京	都	佐	野	喜	久	雄	金	五	千	円
山	田	ナ	ミ	金	五	千	円				
国	立	市	佐	藤	寛	子	金	三	千	円	
川	口	市	西	山	賢	二	金	三	千	円	
福	島	市	田	辺	ハ	ナ	エ	金	三	千	円
相	模	原	市	遠	藤	タ	カ	ノ	金	一	万
大	阪	市	笠	原	藤	清	金	一	万	円	
吉	田	町	伏	見	弥	生	金	三	千	円	
寺	泊	町	能	登	太	一	金	三	千	円	
			木	下	秀	三	郎	金	三	千	円
			加	藤	千	代	金	五	千	円	
			長	善	福	寺	金	五	千	円	

小波会十月旬会詠草

兼題 秋の海・夜なべ他当季

沖の沖

何かあるよな秋の海

大越碧水子

人の世は

独去独来秋の海

中村 流瓢

カーフェリー

今年で終る秋の海

外山 海子

夜業の灯

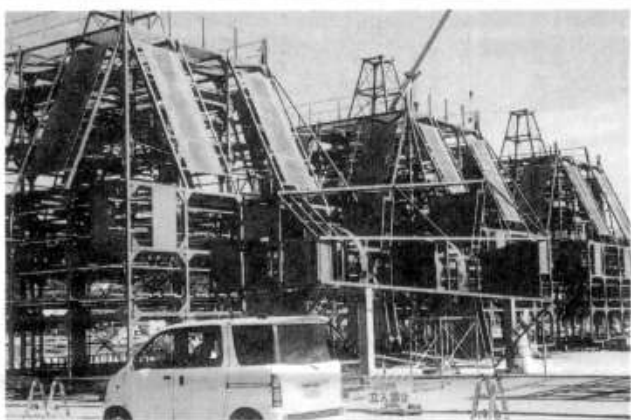
消えて久しき町工場

外山 きよし

暗き灯に

夜なべの母の遙かなり

斉藤 紫苑



これもビルの建築現場ではありません。
大型クレーンで吊り上げた鉄材が次々と溶接され、魚礁
が組立てられてゆく。

突貫の

夜業終へたるコップ酒

縄のれん

くぐれば夜なべ仲間かな

加勢 白汀

夜学の子

教ふるわれの夜なべかな

小島 温石

世は移り

様変わりたる夜鍋かな

小島 冬扇

秋晴れや

つい誘われて野の人に

竹内 霍山

カラクリ時計

見えるパーラー鯛雲

小形 美代



そろそろ鮭のシーズン。
漁協へ運び込まれるとメス・オスに識別。
次に体重測定され競りを待つことになる。

なにもなき

ことのしあはせ秋の蝶

蟬螂の

固まっており小犬の前

江原 汀子

まともらぬ

奉仕の仕事夜ふけまで

水沢 蕉子

あとがき

良寛さまが三条地震のお見舞
状に「病む時は病み死ぬときは
死ぬがよろしく候」と記された
と言う逸話はあまりにも有名で
あり、そしてそれはまさしくそ
の通りであるには違いないので
あるが、「はいその通りです」
と背いてゆけないところに私の

心のありようの問題がある。

私は先月号の紙面を借用して
一寸宣伝させて頂いた町の文化
会館「はまなす」のホールでそ
ろそろ入場者が集まり始め、已
にホールに入った人、ロビーで
三々五々話をしたり、連れ立っ
て車から下りて来る人達の様子
を眺め乍ら開会の挨拶の事など
考えていた。突然ギンギンと建
物が鳴りグラグラと揺れはじめ
瞬間のどよめきの中右往左往す
る人達、予想もしない出来事に
唯啞然と立ち尽くすばかり。や
がて揺れはおさまり外へ出た人
達も会場内に戻りはじめやれや
れとひと息、大部大きな地震だ
ね震源地も近そうだなど話し
ているうちに又もや大揺れ。こ



今一番旨い魚はと問われれば、やはりノドグロと答える
のが妥当。
間違ってもハラグロと言った人もいる。

毎月二十日発行
寺泊ふるさとだより

誌代税共(百円)

編集人 中 村 興 樹
発行人 新 潟 県 寺 泊 町

発行所 新 潟 県 寺 泊 町
ふるさとだより

郵便番号 九四〇一二五〇二
ダイヤル局番 〇二五八七五

電話 二〇二一九番

振替番号 〇〇六二〇一三三五四五

印刷所 吉野印刷株式会社